

## 化学反応における顕著な功績を表彰する「鈴木章賞」 2024 年受賞者を発表

### 【賞の概要】

北海道大学創成研究機構化学反応創成研究拠点（WPI-ICReDD/ダブリューピーアイ アイクレッド）は、東ソー株式会社からの協賛のもと、本学初のノーベル化学賞受賞者である鈴木 章ユニバーシティプロフェッサー・名誉教授の名を冠した「鈴木章賞」を 2021 年に創設し、同年初代受賞者を発表しました。

「鈴木章賞」は、化学反応開発における顕著な功績を表彰する制度として、実験化学分野の研究者へ授与される「アキラ・スズキ・アワード」と、計算（理論）化学及び情報科学分野の研究者へ授与される「アイクレッド・アワード」の二つの部門から成っています。

第 4 回目にあたる 2024 年は、6 月 12 日（水）午後 2 時に次の 2 名を受賞者として発表しました。

- アキラ・スズキ・アワード：グレゴリー・C・フー教授（カリフォルニア工科大学（米国））
- アイクレッド・アワード：アラン・アスプル＝グジック教授（トロント大学（カナダ））

本年の授賞式及び受賞講演会は ICReDD が毎年開催する国際シンポジウムと合わせて 2024 年 10 月 22 日（火）午前 9 時から、北海道大学札幌キャンパス内、フード&メディカルイノベーション国際拠点、多目的ホールにて開催予定です。

### 【受賞者情報】

#### (1) 2024 年 アキラ・スズキ・アワード受賞者

- 【氏 名】 グレゴリー・C・フー教授（Prof. Gregory C. Fu）  
【所 属】 カリフォルニア工科大学  
【生年月日】 1963 年 6 月 17 日  
【学 歴】 1991 年 ハーバード大学 博士号取得  
【職 歴】 1991 年 カリフォルニア工科大学 博士研究員  
1993 年 マサチューセッツ工科大学 助教  
1998 年 同大学 准教授  
1999 年 同大学 教授  
2012 年 カリフォルニア工科大学 アルテア化学教授  
2016 年 同大学 ノーマン・チャンドラー化学教授
- 【受 賞 等】 2006 年 有機合成化学協会 向山賞  
2007 年 アメリカ芸術科学アカデミー フェロー  
2012 年 アメリカ化学会 創造的有機合成化学賞  
2014 年 アメリカ科学アカデミー 会員  
2018 年 アメリカ化学会 ハーバート・ブラウン賞

- 【受賞理由】** パラジウム及びニッケル触媒を用いた塩化物やアルキル求電子剤のクロスカップリング反応、ニッケル触媒を用いたアルキル求電子剤のエナンチオ選択的クロスカップリング反応への貢献。
- 【受賞者コメント】** 「このような喜ばしいニュースに驚いております。ありがとうございます。  
鈴木 章先生は私にとって科学者のヒーローのうちのお一人であり、先生の名誉の元に創設されたこの賞を受賞させていただくことは非常に誉れ高いことです。」
- 【研究概要】** 金属触媒によるカップリング反応とキラル触媒の設計。特に、ニッケル触媒を用いたアルキル求電子剤のエナンチオ選択的クロスカップリング反応や、銅触媒を用いた光誘起炭素-ヘテロ原子結合形成反応の開発に注力している。

## (2) 2024 年 アイクレッド・アワード受賞者

- 【氏 名】** アラン・アスプル＝グジック教授 (Prof. Alán Aspuru-Guzik)
- 【所 属】** トロント大学
- 【生年月日】** 1976 年 7 月 4 日
- 【学 歴】** 2004 年 カリフォルニア大学バークレー校 博士号取得
- 【職 歴】** 2005 年 同大学 博士研究員  
2006 年 ハーバード大学 助教  
2010 年 同大学 准教授  
2013 年 同大学 教授  
2018 年 カナダ・トロント大学 教授
- 【受賞等】** 2009 年 スローン財団 リサーチフェロー  
2012 年 アメリカ物理学会 フェロー  
2017 年 アメリカ科学振興協会 フェロー  
2018 年 アメリカ ファイ・ベータ・カッパ名誉協会 客員研究員  
2024 年 Maclean's 誌「2024 年最もパワフルなカナダ人トップ 100」AI 部門選出
- 【受賞理由】** ロボット工学・AI・high throughput 量子化学計算の組み合わせで計算-実験で新分子を発見するプラットフォームを開発し、さらに量子コンピューティングの研究でも顕著な成果を上げている。量子コンピュータソフトウェア企業 Zapata Computing の創設者。
- 【受賞者コメント】** 「このような賞をいただけることは大変栄誉なことです。素晴らしいお知らせに心から感謝し、謹んでお受けいたします。」
- 【研究概要】** 量子情報、機械学習、化学間のインターフェースに関する研究。化学系専用の量子コンピュータと量子シミュレータのアルゴリズム開発と実験的実装のパイオニア。光合成複合体における励起子エネルギーの移動における量子コヒーレンスの役割を研究し、有機半導体、有機光起電力、有機電池、有機発光ダイオードの計算によってその発見を加速させた。分子特性の自動学習のための分子記述子と生成モデルにも取り組み、現在、科学的発見を加速するための自動化と「自律的」化学実験室に関心を寄せている。



グレゴリー・C・フー教授（左）と、アラン・アスプル＝グジック教授（右）

#### お問い合わせ先

北海道大学創成研究機構化学反応創成研究拠点 研究支援部門長 山本靖典（やまもとやすのり）

T E L 011-706-9646 F A X 011-706-9652 メール event@icredd.hokudai.ac.jp

U R L <https://www.icredd.hokudai.ac.jp/ja/akira-suzuki-awards>

#### 配信元

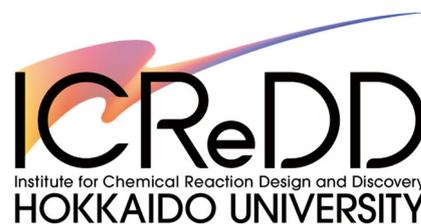
北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp

#### 【WPI-ICReDD について】

ICReDD (Institute for Chemical Reaction Design and Discovery、アイクレッド) は、文部科学省国際研究拠点形成促進事業費補助金「世界トップレベル研究拠点プログラム (WPI)」に採択され、2018 年 10 月に本学に設置されました。WPI の目的は、高度に国際化された研究環境と世界トップレベルの研究水準の研究を行う「目に見える研究拠点」の形成であり、ICReDD は国内にある 18 の研究拠点の一つです。

ICReDD では、拠点長の下、計算科学、情報科学、実験科学の三つの学問分野を融合させることにより、人類が未来を生き抜く上で必要不可欠な「化学反応」を合理的に設計し制御を行います。さらに化学反応の合理的かつ効率的な開発を可能とする学問、「化学反応創成学」という新たな学問分野を確立し、新しい化学反応や材料の創出を目指しています。



World Premier International  
Research Center Initiative